

看護いばらき



No. 98
2012年8月10日



CONTENTS

- | | | | |
|---------------|-------------|-----------------|---------------|
| ■平成24年度通常総会報告 |P2 | ■地区活動 |P8 ~ 9 |
| ■平成24年度職能集会報告 |P3 | ■看護研修センターリニューアル |P10 ~ 13 |
| ■新役員紹介 |P4 ~ 5 | ■第48回いばらき看護の祭典 |P14 ~ 15 |
| ■委員会活動 |P6 ~ 7 | ■協会からのお知らせ |P16 |

平成24年度通常総会報告

6月15日（金）、公益社団法人茨城県看護協会として初めての通常総会が水戸プラザホテルにおいて、出席者444名、委任状9,594名のもと開催されました。

開会式では、村田会長あいさつ、県保健福祉部土井幹雄部長、県病院協会横田広夫副会長からの祝辞に続き優良看護職員協会長表彰式が行われ、県内看護職23名の方に賞状、記念品が授与されました。

総会では、議決事項の第一号議案として公益社団法人茨城県看護協会総会運営規則から第四号議案まで承認されました。また、公益社団法人に移行したことにより、理事会の権限、総会の権限が変更になり、これまで議決事項であった決算報告、監査報告、収支予算などが報告事項となり担当から報告されました。

23年度事業報告では、公益社団法人の移行経過、看護研修センターの拡張整備の結果について報告されました。議決事項、報告事項については下記のとおりです。

議決事項

提出議題

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 第一号議案 | 公益社団法人茨城県看護協会総会運営規則（案） |
| 第二号議案 | 平成23年度決算報告（案）並びに監査報告（案） |
| 第三号議案 | 平成24年度改選役員及び推薦委員の選任 |
| 第四号議案 | 平成25年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選任 |

報告事項

報告事項1 公益社団法人茨城県看護協会定款及び細則について

報告事項2 平成23年度事業報告

　　公益社団法人への移行について

　　茨城県看護研修センターの拡張整備の結果について

報告事項3 平成24年度重点事業並びに事業計画

報告事項4 平成24年度収支予算

24年度重点事業は、1 活力ある組織の強化 2 看護職の定着・確保の推進 3 専門性向上に向けた継続教育の推進 4 療養を支える訪問看護や複合型サービスの推進と介護領域における看護機能の強化 5 県民への保健・医療・福祉サービスの推進の5項目を挙げ、公益社団法人として初年度となる今年度は基盤の確立を軸に事業を展開してまいります。



平成24年度優良看護職員茨城県協会長表彰

受賞おめでとうございます

公益社団法人 茨城県看護協会
平成24年度 通常総会



由清陽昭好	美美子子	澤崎木斐	清しげ子
川柴下鈴田塚仲	辻木邊田	井山永西	江光信
田塚仲広星堀青旭	澤瀬真知子	田尻千恵子	のり子
川木彰子	富美子	田口はつみ	はつみ
万由美佐記子	万由美佐記子	古口江久典俊	江千恵子

公益社団法人設立記念講演



今年度は看護協会が公益社団法人に移行した記念として「これからのかの看護職に求められるもの」と題し、日本看護協会斎藤訓子常任理事より、近年の保健医療福祉政策の動向や保健医療福祉を取り巻く状況等について、さらに超高齢社会に向けた看護の課題や新たなサービスの展開について講演をしていただきました。

職能集会報告

看護師職能委員長 江幡恵子

今年度は、保健師職能委員会、助産師職能委員会、看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱが同じ会場で合同の職能集会を実施しました。

今回の職能集会でお互いの活動を知り、同じ看護職として相互に理解し連携する良い機会になりました。これからも看護職の連携を大切にしていきたいと考えています。



新役員紹介

平成24年度 役員9名、監事1名が選任されました。

新任・再任された方々をご紹介いたします。

第一副会長

鈴木君江(再任)



「公益社団法人としての挑戦」

超高齢社会を迎え、病院・病床の機能の分化と連携、専門職間の協働、在宅医療の充実等に向けた制度改革が進む中、公益社団法人となりました。看護職の活動が、県民の皆様に理解され、評価を得て、未来の看護の役割を想定した活動ができるよう会長を支え、理事たちと力を合わせ尽力します。

専務理事

太布和子(再任)



「新たな組織のスタートを慶びとして」

茨城県看護協会が公益社団法人としてスタートしました。今まで以上に、社会から信頼される組織としての成長が図れるよう精一杯努力し、役割と責任を果たしたいと考えています。

常任理事

相川三保子(新任)



「働く人たちのやりがい・ゆとり・よろこびを求めて」

公益社団法人として県民の方々へのサービスが提供できるためにも、保健・医療・福祉現場で働く人たちの「雇用の質」にしっかりと向き合い少しでも改善するために一緒に考えていきたい。一方で県内看護職の人材偏在への取り組みも重要課題である。看護職が健康で働き続けられる職場環境であるよう支援させていただきます。

助産師職能理事

檜谷厚子(再任)



「今こそ助産師が自立するチャンス」

助産師が自立して行う院内助産システム推進に取り組んできましたが、県内では非常にゆっくりとした進捗状況です。今年度2期目の助産師職能委員長をお引き受けし、助産師の母子ケア能力と実践力の向上を目指し活動していくと考えています。

看護師職能理事

江幡恵子(再任)



「専門職として看護師の力を発揮するために」

看護師職能委員会は新たに病院領域Ⅰと在宅領域Ⅱの分野で活動を開始しました。これまで病院領域の問題を中心に活動してきましたが、今後は人々の期待に応え安全で安心な質の高い看護が提供できるよう病院領域と在宅領域の看護職があまいに連携し、専門職としてその力を十分に発揮できる環境づくりに向けて努力してまいりたいと考えています。

水戸地区理事

藤田 けい子(新任)



「地域のきずなを深めよう」

水戸地区理事として新たなスタートの年となりました。今年度は公益社団法人への移行と共に地区再編成が行われ、地区活動をより充実させていくことが求められています。地区活動を通して、会員の皆様と共に地域の連携を深め看護サービスの質向上や、地域住民の健康増進活動に努めてまいります。

日立地区理事

金子 美智子(再任)



「チャンス」

日立地区は今年度より地区編成に伴い縮小されましたが、会員同士の顔が見える連携を深めるチャンスとして捉えています。厳しい環境にある県北地区が少しでも前向きに進むことができるよう働きかけていきたいと思います。また、地域の人々との関わりを進め公益社団法人のスタートに相応しい年となれるよう努めます。

鹿行地区理事

岡 直子(新任)



「公益認定の今後」

公益認定を得られた年に鹿行地区理事を務めさせて頂きます。これから約2年間2名の地区委員の方、地区の方達の手を借りながら協会は元より地域に根ざした活動を行って参りたいと考えてあり、その一つとして、看護師職能委員会Ⅱとの連携、情報共有を図り看護の質の向上に努めたいと考えてあります。よろしくお願ひ致します。

取手・竜ヶ崎地区理事

本間 満子(新任)



「地域の皆様の健康生活を支える活動を目指して」

公益法人としてスタートした年に地区理事の役をいただきました。微力でありますが、看護協会の基本理念でもある「県民だれもが、住み慣れた地域で、健康で安心して、その人らしく暮らすことができるような地域社会の調和ある発展に貢献する」ことを念頭に、地区活動が、地域住民のみなさまの健康生活を支えられるような活動につなげていきたいと考えています。

監事

坂本 理(新任)



「ソフトもハードもリニューアル」のこの機会に

時代の要請に応えるべく新たな公益法人に、さらに研修センターを整備拡張し、ソフト・ハードの両面からリニューアルされました。この機会に選任された私としても、より重要性を増した監事の役割を念頭におきながら、理事会、監査にのぞみたいと思います。

平成24年度 委員会活動



公益社団法人移行に伴い、委員会が再編されました。
新たに委員会規則等も規定され、常任委員会、特別委員会の見直しがあり、6月22日委員会活動説明会が開催されました。これまであった準備委員会、規約委員会が廃止され、社会経済福祉委員会、介護保険・訪問看護推進委員会の名称が改称になり、また、公益事業推進委員会を設置しました。各委員会で委員長・副委員長が互選により選出され、今年度の活動について話し合われました。各委員長と活動内容をお知らせします。

看護労働改善事業委員会（前社会経済福祉委員会）

委員長 鈴木 美恵子

「安心して働く職場づくりの推進」

社会経済福祉委員会から「看護労働改善事業委員会」と名称を改め委員も8名に増えました。時間外労働、夜勤、交代制勤務等、厳しい勤務環境に置かれている看護職の労働条件の改善及び職場環境改善を推進することを目標としています。各施設での勤務環境等の現状について実態調査を行い、改善の取り組みを推進してまいります。

教育委員会

委員長 岸田 のぶ

「専門性の向上にむけた継続教育の推進」

教育委員会では、新人研修、ブラッショアップ研修を企画・運営しております。ブラッショアップ研修は、専門領域別に設定があり皆様のキャリアアップをご活用下さい。また、日本看護学会－成人看護II－学術集会、茨城県看護研究学会も合わせて皆様の多数のご参加をお待ちしております。

業務委員会

委員長 大槻 勝明

「看護師の質向上と専門性・自律性を目指して」

－認定看護師の業務・役割規定について考える－

昨年度の「特定看護師（仮称）と看護業務についての実態調査」から専門看護師・認定看護師の業務・役割規定が確立されていない現状が浮き彫りになりました。そこで、今年度は、患者の安全を担保しつつ質の高い看護が提供できるよう、また、看護の専門性、自律性が発揮していくけるよう認定看護師の業務・役割規定についての指針（案）について検討していきたいと考えています。

広報委員会

委員長 宮本 佳代子

「魅力ある機関紙をめざして」

今年度の活動目標は、興味・関心のある「旬」の話題を提供すること、美しく見やすい紙面作り、県内の看護に関する学会や研修など現地取材を通じ参加者の声を反映した記事を提供することです。そして、「看護いばらき」が100号を迎え、記念企画となるように取り組んでいきたいと思います。

学会委員会

委員長 小柳みな子



「盛大な茨城県看護研究学会の開催を目指して」

委員7人で平成24年度の茨城県看護研究学会の準備を進めて参ります。学会は平成25年2月13日(水)茨城県立県民文化センターで開催予定です。この日は研究成果を発表の他、会員相互にとって看護の交流の場になることを期待しております。多数の皆様の参加を心よりお待ちしております。

医療・看護安全対策推進委員会

委員長 飯村妙子



「医療安全管理者養成研修会スタート」

8日間の研修会は魅力ある講師の方々にお願いでき、質の高い研修になると期待しています。KYT・事故分析の研修同様に皆様のご参加をお待ちしています。

医療安全管理者交流会・ネットワーク作りも継続して行い、県内の医療安全の質向上に努めて参ります。

在宅療養看護推進委員会（前介護保険・地域訪問看護推進委員会）

委員長 青木万由美



「訪問看護のイメージアップを目指して」

地域連携・在宅療養の推進が叫ばれる中、訪問看護については、まだまだ理解されていない現状にあります。当委員会では、皆様に訪問看護を周知していただけるように活動していきます。また、訪問看護の重要性、在宅療養の素晴らしさも伝えていきたいと思っています。

災害看護委員会

委員長 松延明

「地域に貢献できる災害看護」



東日本大震災以降、災害支援は様々な職種の方々から市民に至るまで、広く関心を持たれています。災害看護委員会は、看護師に出来ることを明確化し、地域社会に貢献できる災害支援ナースの育成に尽力いたします。また、災害支援ナースに登録されている方の、フォローアップ研修も充実させ、災害に強い茨城を目指します。がんばろう茨城！

公益事業推進委員会

今年度より、茨城県看護協会は、公益社団法人として新たな一步を踏み出しました。新法人の基本理念である「県民誰もが、住み慣れた地域で健康で安心して、その人らしく暮らすことができるよう、地域社会の調和ある発展に貢献する」という目的達成に向け、委員一丸となって取り組んで参ります。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

推薦委員会

委員長 秋山幸子



「本会の活動を理解し積極的に取り組む人材を推薦します」

推薦委員は、9人で構成されており、次期総会の改選に向けて、本会の役員及び代議員等の候補者の推薦をすることを任務としています。

委員会の活動目標は、協会の発展に寄与するよう、会の活動を理解し、その任務を遂行できる人材を推薦します。会の活性化を目指して活動目標に向かって、全員で頑張ります。

地

区

活

動

2012

4月から県内の地区編成が7地区から9地区に
変わりました。これを機会に地区活動に参加しましょう！



「地域の連携強化を図りましょう」

水戸地区 水戸赤十字病院 藤田 けい子

今年度の活動テーマは、「水戸地区会員の情報共有と連携強化を図る」としました。今年度より水戸地区理事として前任者からバトンを受け取りました。「まちの保健室」や「地区研修」等の活動と共に、地区会員の様々なリソースを集結し更なる地区内外の連携を深めていきたいと考えています。

「日立・高萩・北茨城の顔が見える連携の実現」

日立地区 (株)日立製作所日立総合病院 金子 美智子

今年度の活動目標は①地区事業活動を通して、看護職間の情報共有・交流を深め地域連携を推進する。②「まちの保健室」の活動を通して、地域住民の健康な生活を支援する。③看護協会会員の増員を働きかける。以上3つの活動目標に沿って展開して行きます。特に強化したいことは、テーマ毎看護管理者意見交換会を開催し施設間の情報共有を行い各施設の活性化に繋げたいと思います。

「地域住民の健康な生活の支援」を目指して

常陸太田・ひたちなか地区 常陸大宮済生会病院 鈴木 典子

当地区は、今年度から新たに編成された地区です。目標として、まず一番に「地域住民の健康な生活の支援」としました。看護職として、看護協会の一員として地域に住む方々の健康な生活を支援していくために「まちの保健室」活動を行います。その活動の基盤となるのは、看護提供者間の連携です。地区的会員・非会員の皆様と力を合わせ、少しずつ地道に活動をしていきたいと思います。皆様どうぞよろしくお願い致します。

「活動目標の実践」

鹿行地区 鹿島病院 岡 直子

昨年は、「まちの保健室」を常設し会員の協力で順調に活動しています。今年度地区的目標である介護、福祉施設等との連携を密にし、分科会の情報等の共有を行えればと考えています。会員増も働きかけ且つ具体的活動方法も今後念頭におきながら継続的に行っていきたいと思います。

「地域の活性化を図る看護の輪」

土浦地区 総合病院土浦協同病院 猪瀬 留美子

今年度の目標は①地域の会員の連携強化②地域でワークライフバランスに取り組む看護の輪の強化（情報交換）としました。

地域市民の皆様のニーズに対応するため看護の普及活動を図り、健康相談などを通して健康支援に努めます。また、研修会では専門的内容のものを企画し看護職の資質向上につなげます。できるだけ多くの看護職の方に協力をいただき地域の皆様に看護協会のアピールをして参ります。

「拡がる・繋がる看護職をめざして」

つくば地区 筑波大学附属病院 白川 洋子

公益社団法人となり、初めての地区理事を担当するに当たり、今年度は上記のようなスローガンを掲げました。そのために、地区会員に対する情報発信を強化し、会員の持つ課題を共有して相互支援ができること、また他の職種と協働しながら市民の健康をサポートしていくための教育・研修を行うことを目標にしました。

「地域住民のみなさまの健康生活を支える活動をめざして」

取手・竜ヶ崎地区 龍ヶ崎済生会病院 本間 満子

地域で開設している「まちの保健室」の活動を充実させ、地域住民の皆様の健康維持・増進を図り、また地域の皆さんに質の高いサービスが提供できるよう、看護職のケアの質向上を目的とした研修会の開催、そして医療職の仲間が情報交換しつつ、地域の医療の質向上につなげられるような活動にしていきたいと考えています。

「地区会員一人ひとりの声を大切に」

筑西・下妻地区 筑西市民病院 野口 敬子

今年度より新たな地区として活動することになりました。「施設代表者会議」から「地区会員会」と会議の名称も変更になり、地区で活動する会員に講演会や「まちの保健室」活動に多く参加していただけるように、そして地区の皆様の声を少しでも反映できるように努めていきたいと思います。

「地区活動の充実を目指して」

古河・坂東地区 総和中央病院 船山 妙子

今年度、茨城県看護協会公益社団法人化に伴い誕生した1年生地区です。地区理事として看護を取り巻く変化する社会情勢にアンテナを高く張り、会員施設相互の交流・意見交換に力を入れていきたいと考えています。また、昼夜を問わず現場で働く看護職一人お一人の“つぶやき”“囁き”を看護協会に届ける役割に徹した活動も展開していく事を、射程距離に置いて、今までに船出を開始しております。今後ともご指導のほど宜しくお願ひ致します。



昨年末から改修工事に入っていた看護研修センターが5月末日に無事竣工し、7月21日に、橋本知事をはじめ、日本看護協会の菊池副会長、県や関係団体の代表者、地域の皆様など160名の方々をお迎えし、竣工記念式典が開催されました。

これまでの会員皆様をはじめ関係者の皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

会員の皆様には、新しくなった看護研修センターを自己研鑽の場として積極的にご活用いただくことをご期待しますとともに、公益法人として地域の皆様の医療・看護、健康づくり、暮らしやすいまちづくりの拠点となっていくことをご期待いたします。



祝 辞



茨城県知事 橋 本 昌

この度、保健衛生会館の改修が終了し、看護研修センターがめでたく竣工の運びとなりましたことを、心からお慶び申し上げます。

村田会長さんをはじめ、茨城県看護協会の皆様には、日頃から保健・医療・福祉の第一線において多大なご尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表する次第です。

さて、医療を取り巻く環境は、急速な少子高齢化の進展、医療の高度化・複雑化などにより大きく変化する一方で、県民の看護に対する期待は大きく高まっており、より安全で質の高い看護の提供が求められています。

こうした中、今回、看護協会の皆様が、研修室の増設・拡張や図書室等の充実により、在宅看護研修や地域住民との交流などの新たな活動に積極的に取り組まれますことを、大変心強く思っております。

この度の看護研修センターの竣工を契機として、本県の保健・医療・福祉の充実のため、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、公益社団法人茨城県看護協会のますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

ごあいさつ



公益社団法人茨城県看護協会
会長 村田昌子

この度、念願でありました保健衛生会館・看護研修センターが改修竣工できることを大変うれしく、関係各位の皆様に厚くお礼申し上げます。

昭和23年7月に会員500名で発足した看護協会も、今や、12,000名を超える看護職としての職能団体として成長してまいりました。この間、平成7年には茨城県の御尽力と会員をはじめ多くの方々のご支援ご理解により、現在の地に保健衛生会館が建設されたところです。その後、17年の月日を経た今、医療を取り巻く環境は著しく変化し、人生90年時代といえる超高齢社会の到来、住民ニーズの多様化等々看護職のための職能団体というだけでなく、この地で生活している県民のニーズに応えられる組織になっていかなければならないとの考え方から、4月からは公益社団法人として新たな一步を踏み出しました。その目的を達成するための改修は、看護の質向上のための研修室や図書室の充実、地域の方々が気軽に健康相談や相互交流ができるコミュニティーサロン込み、在宅看護などが体験できる生活エンジョイルーム、まちの保健室コーナーなど、改修に看護職の視点を取り入れました。

生活の視点を大切にした看護は、今まで以上に求められてまいります。拠点は完成しましたので、多くの方々のご協力を得ながらこの白いキャンバスにやさしい色を染めていきたいと考えています。

結びに、一人でも多くの方々に会館をご利用いただき、看護協会のさらなる活動と発展のために、関係各位の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げ改修竣工式にあたってのあいさつといたします。



和やかに盛大に行われた竣工記念式典

ご挨拶いただいたご来賓の方々



内覧会風景



森永和男・茨城県歯科医師会長のご発声で乾杯



★リニューアルの内容★

1F

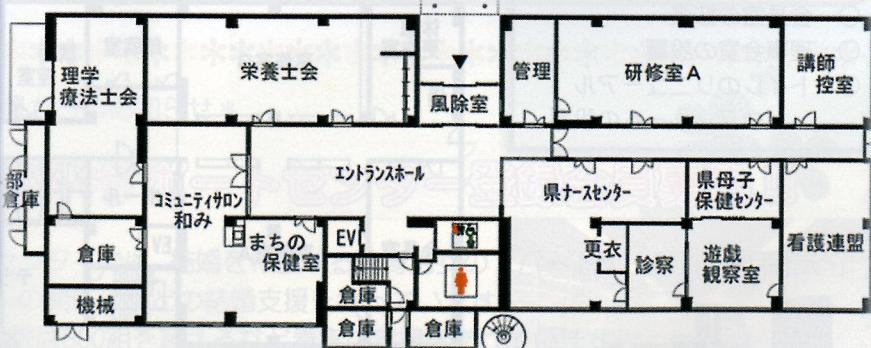
- 地域住民、会員同士の交流の場
「コミュニティーサロン和み」
常設「まちの保健室」
- ナースセンター「相談コーナー」の設置
- 母子保健センター遊戯観察室、診察室
- 団体事務室
- 多目的トイレ



相談コーナー



母子保健センター



コミュニティーサロン和み



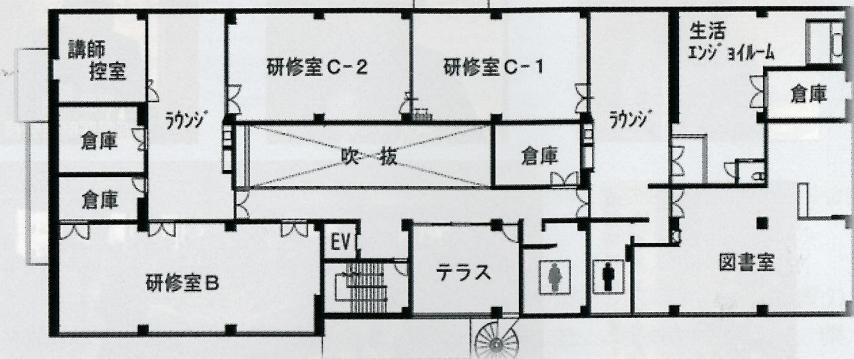
常設まちの保健室



ナースセンター

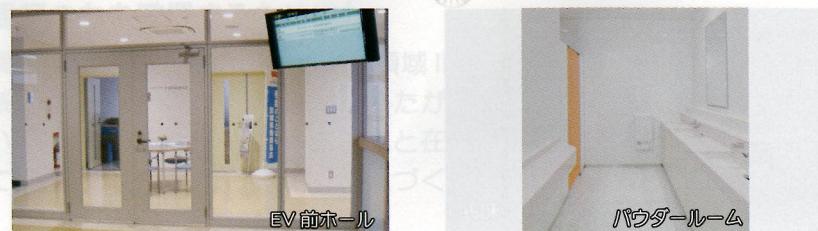
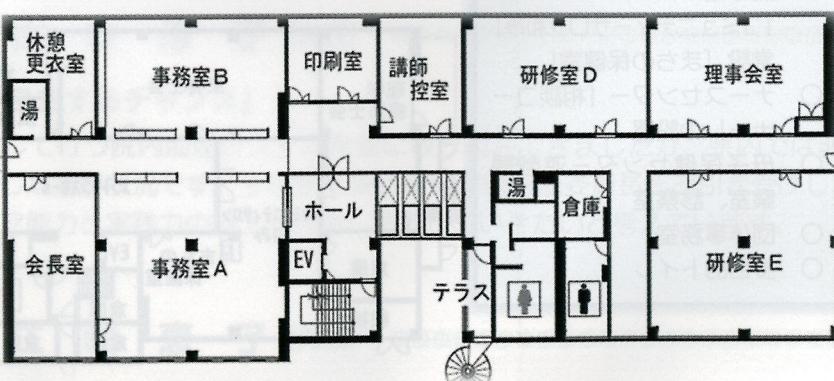
2F

- 研修室の増設
- 研修室前ラウンジの設置
～くつろぎの場の提供～
- 住宅看護研修室
「生活エンジョイルーム」
の設置
～体験型研修の提供～
- 図書室の拡張



3F

- 事務室のオープンフロア化
OAフロア化
- 会長室の拡張
- 理事会室の設置
- トイレのリニューアル
パウダールームの設置





●改修の概要

改修対象面積 茨城県保健衛生会館延べ床面積
2,906.97m²のうち2,635.53m² (90.7%)

基本コンセプト

- ★会員が愛着と誇りを持てる活動拠点
- ★自己研鑽、相互研鑽が推進できる学びの空間
- ★看護・医療技術の進歩及び社会の変化や県民のニーズに柔軟に対応できる機能を持つ
- ★公益社団法人として地域に開かれた活動拠点
- ★省エネ等環境に配慮された施設

総工費 約3億9,000万円
(不動産取得費用込み)

施工監理 (株)柴建築設計事務所
施工 鈴縫工業(株)



●改修経過

H22. 6. 26	平成22年度通常総会 茨城県薬剤師会不動産の購入について機関決定
H22. 8. 27	看護研修センター拡張整備計画検討会設置
H23. 1. 19	基本設計業者決定
H23. 4. 20	★(株) 柴建築設計事務所
H23. 6. 19	基本設計終了
H23. 6. 23	平成23年度通常総会
H23. 11. 1	★基本計画を機関決定
H23. 11. 8	実施設計・施工監理業者決定
H23. 11. 30	★(株) 柴建築設計事務所
H23. 12. 7	薬剤師会との不動産売買契約締結
H23. 12. 8	実施設計終了
H24. 5. 31	施工業者決定 鈴縫工業(株)
	不動産移転登記
	改修工事着工
	竣工



茨城県からのお知らせ

いばらき出会い系サポートセンター登録会員募集!!

○いばらき出会い系サポートセンターでは、結婚を希望する独身男女の「パートナー探しのお手伝い」や、「ふれあいパーティーの開催」などの結婚支援を行っています。

○開設以来、約6年で、成婚数は800組を超えるなど着実に実績をあげています。

○会員登録ができるのは、茨城県内にお住まいの方、又は、お勤めの方です。

○入会金は10,500円で3年間有効です。

○入会手続きは結婚を希望する本人に限ります。

【お問い合わせ先】いばらき出会い系サポートセンター

TEL : 029-224-8888



HPでも詳細が見られるよ。
携帯サイトへは
左のQRコードからGo!





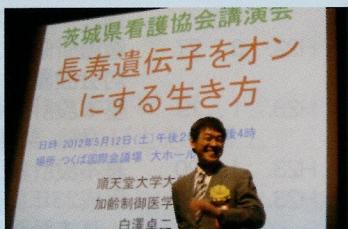
東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校の看護学生が、受け継ぐ灯に幸せの祈りをこめてキャンドルサービスを行いました。開会式で村田昌子会長は、看護職がいきいき働き続けられるような職場づくりと一生ものの資格をいかすことができるよう県民の皆さんへ理解と支援を求めました。

☆特別講演☆

「長寿遺伝子を
オンにする生き方」

順天堂大学大学院
医学研究科
加齢制御医学講座 教授 白澤卓二 氏

長生きの秘訣は、若いころからのアンチエイジングの実践を続けることであり、食事・運動・生きがいをみつけること。さらに、いつまでも「こころ」のときめきを忘れないことが、心の老化を予防する事ともお話しされました。日々の簡単な心がけを継続することの大切さを知り三日坊主にならないよう実践してみようと思いました。



☆まちの保健室☆

血管年齢測定には行列ができ、大変人気であった。参加者からは「血管年齢が実年齢より若くて嬉しかった」などの声がありました。

手洗いセンターを体験した看護学生は「手洗いが不十分であることが確認できた。今後は気をつけたい」と話していました。

健康相談を受けた女性は「メタボ予防のため食べ過ぎに注意したい」と生活習慣を変える必要性を感じていた様子でした。



来場者の声

- 毎年キャンドルサービスを楽しみにしている。
素晴らしいだった。
- エッセーの朗読を聞き、自分が看護師として働いていることの根本を振り返ることができた。
大変感動した。



平成24年度優良看護職員茨城県知事表彰

受賞おめでとうございます



仲根よし子	齋藤千津子
深澤伸子	白川洋子
坏明恵	富永文子
入江千恵子	疋田富美江
太田幸栄	



受賞者の声

☆みなさまに支えていただき、ここまできました。感謝しています。自分の健康を大切にしながら、地域の方の健康を守っていきたいと思っています。
☆受賞させていただき光栄です。助産師教育に携わってきました。今後は、人材を育てていく事が役割だと思っています。
☆身に余る光栄です。次に続く人たちのためにがんばっていきたいと思います。

東日本大震災災害支援活動特別表彰

東日本大震災の際、現地で救援活動を行った災害支援ナース35名と筑波大学の安田貢先生に感謝状が贈されました。



災害支援ナースの声

2011年3月下旬に高萩市の避難所の夜間巡回と在宅訪問を行いました。

プライバシーのないストレス、いつまで続くのかというストレスを感じ、時間が経つと心のケアが大切だと言う事を実感しました。臨床の場ではわからない災害後のケアを知ることが出来ました。

看護に関するエッセー入賞者表彰

175作品の中から看護職部門・一般部門あわせて10名が表彰されました。

看護職部門 最優秀賞 金敷ちか子さん

自らの体験、命の尊さについて書いた。自分の体験がこの機会に、みなさん伝わればよいと思う。結婚後、子育てをしながら看護師を目指しています。

一般部門 最優秀賞 横口信子さん

御主人が生前、数か所の病院にお世話になり、その時の感謝の気持ちと思いが看護の役に立てればと思い応募しました。



祝

平成24年度日本看護協会長表彰

千葉県の幕張メッセにおいて開催された、平成24年度日本看護協会通常総会（6月5日）では、本県より2名の方が表彰されました。あめでとうございます。

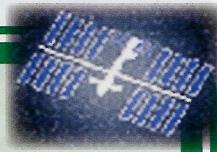


藤田 けい子 様
水戸赤十字病院



金子 美智子 様
(株) 日立製作所日立総合病院

第43回 日本看護学会－成人看護II－学術集会



決してあきらめない 看護の知と技への挑戦

11月6・7日 つくば国際会議場

特別講演 「あきらめない知と技への挑戦－今、リーダーに求められるもの」

川口淳一郎先生（宇宙航空開発機構 JAXA 教授）

教育講演 「超高齢社会を科学する」

秋山弘子先生（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）

パネルディスカッション

「慢性疾患領域でのチャレンジ

－特定看護師（仮称）業務試行事業実施施設からの報告－」



●事前参加登録受付＝7月30日（月）～10月16日（火）

☆事前参加登録　日本看護協会ホームページ (<http://www.nurse.or.jp>) より申し込み

インターネットからの受付手続きができない場合は、日本看護協会看護研修学校 管理部教務係（TEL 042-492-7211）へお問い合わせください。

定員になり次第締め切り（先着順）です。

編集後記

今年度より広報委員を担当させていただくことになりました。会員のみなさまに興味を持って読んでいただけるような機関紙となるよう努力していきますので、よろしくお願いします。

夏本番、節電の夏です。エアコンの控えすぎによる熱中症などに注意し、家族で協力しあい無理のない範囲で、この夏を乗り切りましょう！

広報委員 今喜多 静子